

龍郷町立秋名小学校公開研究会

研究の背景と方向

環境面：児童数の急増

→ 1～2人の単式学級から完全複式学級へ

複式指導に関する研究

学力面：算数科の得点率が低い

→ 平成30年4月NRT学力検査の結果より

算数科に絞った研究

児童の学びの様子：算数への苦手意識
要因・・・①以前学習したことを忘れている。

既習事項を活用させる

②間接指導の際に学び合えていない。

互いに学び合う
ガイド学習

研究主題

自ら学び活用する子どもを育てる算数科学習指導の工夫・改善
～既習事項を生かした学び合いを通して～

めざす子どものイメージ



つなげる

- これまで学習してきたことで、似ていたり、使えたりすることはないかな。
- 〇〇を使えば、解決できそうだな。



使う

- わたしは、〇〇を使って考えました。
- こうした方が、速くできそうだね。
- (簡単に、正確に、どんな時でもなど)



実感する

- 〇〇をつかって解決できたね。
- みんなで考えたことは、これからも使えそうだね。

単元

一単位時間や単元のサイクル

単元

研究の重点と内容

工夫・改善点1 (単元間)
単元間の既習事項をつなぐ手立て

実感する

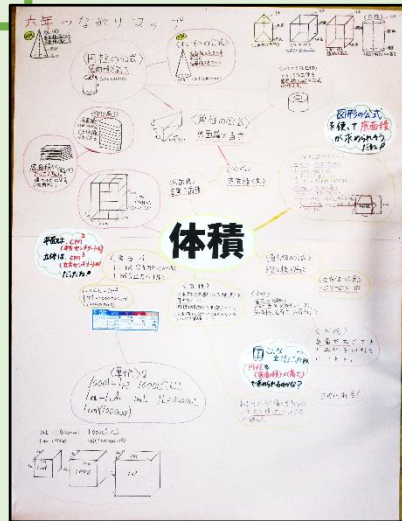
つなげる

使う

算数つながり
マップ

工夫・改善点2 (一単位時間内)
一単位時間内の指導法改善

算数コーナー



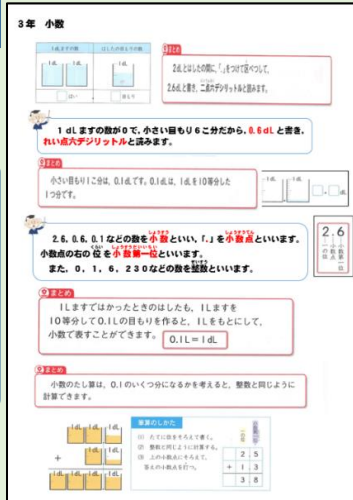
算数日記

学習過程
「気づき」の工夫

以下の視点で学び合い、
見通しをもたせる。

- ア 分かっていることと本時で求めること
- イ これまでの学習との共通点・相違点
- ウ 使えそうな方法
- エ 式や答えの予想

ヒントカード



～公開研究会(11月17日)の様子～

全体会 I

分科会

3・4年授業

5・6年授業

全体会 II

～参加された先生方から～

- 既習事項の重要性について気付かされる、とてもよい機会となりました。学校に持ち帰り、「算数つながりマップ」などの具体的な手立てを提案したいと思います。
- 3・4年生の自ら進めるガイド学習が、素晴らしかったです。「算数つながりマップ」で適宜これまでの振り返りをしながら課題解決していくことが、児童の自信となっていくのではないかと思います。
- 5・6年生の生き生きと学び合っている姿に感心しました。先生や友達とのやり取りがとても楽しそうで、この楽しさが算数好きを増やしていくのだと感じました。
- 児童が自ら主体的に学んでいく姿は、まさにこれからの時代に求められている授業に近いのではないかと感じました。